

お客様用

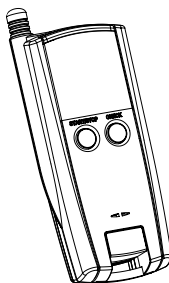


## ワイヤレスエンジンスターター 取扱説明書

このたびは、スズキ純正ワイヤレスエンジンスターターをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取り扱い方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

なお、取り付けミスを避けるためにも、取り付けは、スズキ代理店または、スズキ代理店が指定した販売店でお願いいたします。






### 警告

このワイヤレスエンジンスターターは、A/T車専用です。M/T車には絶対装着しないでください。

### 安全に関する表示

この取扱説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、注意、アドバイス のところは、とくにしっかりお読みください。

 <b>警告</b>	取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害を負う可能性がある内容または物的損害の発生が予想される内容を示しています。
 <b>アドバイス</b>	この用品のために守っていただきたいこと、および、知っておくと便利なことを示しています。

### 注意

お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与される時には、新しく所有者となられる方が安全な正しい使い方を知らるために、本書自体を紛失しないように大切に保管してください。

7030200

発売元 : **スズキ株式会社**

---

## ワイヤレスエンジンスターターはこんな製品です。

---

離れた場所から送信機でエンジンを始動させ、あらかじめエアコンを作動状態にしておくと、車室内の冷暖房を事前におこなう装置です。また、操作した場所から、車のエンジンが、始動したかどうかを確認する事ができるアンサーバック式を採用いたしました。

## 目 次

1.安全のため必ずお守りください	P 3
2.法令上のご注意	P 5
3.使用上のご注意	P 6
4.システム構成と各部の名称	P 8
5.ワイヤレスエンジンスターターの基本機能	P 10
6.電池切れ警告と電池交換方法	P 11
7.メインスイッチの使用方法	P 12
8.基本操作	P 13
9.初期設定	P 20
10.リセット	P 20
11.こんなときは	P 21
12.仕様	P 22

## 1. 安全のために必ずお守りください。

### ⚠ 警告

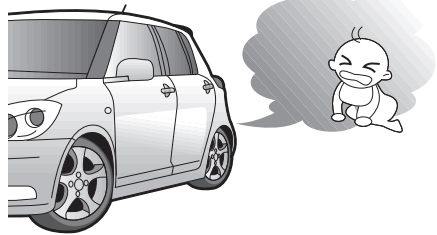
#### 屋内ではエンジンを始動しないでください。

排気ガスの充満しやすい場所、例えば換気の悪いガレージ内や地下駐車場、パーキングタワー内では絶対にエンジンを始動させないでください。排気ガスによる中毒のおそれがあります。



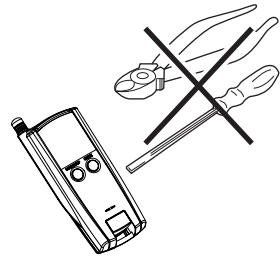
#### 車両周囲の安全を確認してください。

車両周囲の安全を十分に確認できる場所でご使用してください。特にお子様やペットが近くにいると、思わぬ事故につながります。



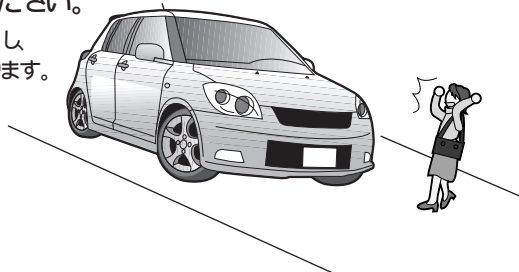
#### 分解や改造をしないでください。

分解及び改造、指示された位置以外の取り付けは絶対に行わないでください。正常に作動せず、故障や事故につながります。又、保証の対象外となります。(※ページ 18 電波法に関するご注意 参照)



#### 傾斜地に駐車した場合は、ワイヤレスエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。

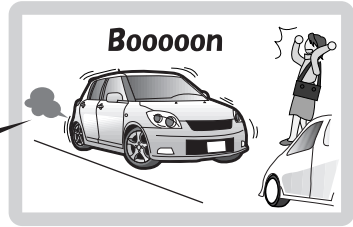
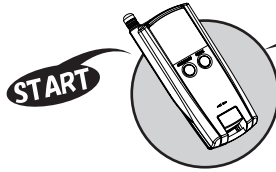
エンジンの振動等で車両が動き出し、重大事故につながるおそれがあります。



## ⚠ 注意

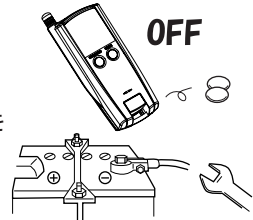
### 公道でエンジンを始動しないでください。

公道でのエンジン始動は絶対にしないでください。  
(5ページ ⚠ 道路交通法に関するご注意)参照)



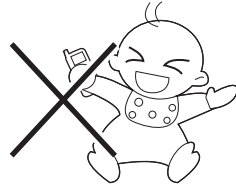
### 安全な整備を行なうために。

車両の点検や整備を行なう際は、メインスイッチを「OFF」にし  
(12ページ「メインスイッチの使用方法」の項参照)  
車両バッテリーの⊖(マイナス)端子を外すか、送信機の電池を  
抜いてください。ガソリンスタンド等での車両の点検整備中には  
絶対に送信機での始動はしないでください。回転部分に手や衣  
服が巻き込まれる等の事故の発生のおそれがあります。  
エンジンルームの点検は、フードスイッチを押したまま作業しないでください。



### 送信機は、安全な場所に保管してください。

送信機は、お子様の手の届かないところに保管してくだ  
さい。リチウム電池を飲み込んで窒息したり、アンテナ等で目  
を突いてケガをするおそれがあります。



### 車内に人などを乗せたままにしないでください。

思わぬ急発進などの防止のため、人(特にお子様)やペット  
が車内にいるときには、絶対にエンジンを始動しないでください。  
最初は効いているエアコンもエンジンの停止と共に停止し  
車内の温度が上がり過ぎたりして危険です。また、子供がス  
イッチを操作して不適切な温度に設定することも考えられます。



### 火災防止のために。

燃えやすい物の近く(オイルや枯れ草など)ではエンジンを始  
動しないでください。高温になった排気管や排ガスが原因で、  
火災になるおそれがあります。



お車にボディカバーを掛けたままエンジン始動しない  
でください。高温になった排気管や排ガスが原因で、火災にな  
るおそれがあります。



## ⚠ 注意

### 水をかけないでください。

送信機は日常生活防水になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になるおそれがあります。



### 日常点検を行なうときは、暖機運転直後に行なわないでください。

お車の暖機運転を行なった直後に運行前点検を行なうと火傷をするおそれがありますのでエンジン停止後、5分以上経過し、火傷のおそれが無いか確認した上で行なってください。



### 車両駐車時の確認事項

エンジン始動時の事故防止のため、駐車時に車両安全確認を行なってください。

- ・パーキングブレーキを確実にかけてください。
- ・シフトレバーをP位置にしてください。
- ・キーを抜いてステアリングロックがかかったことを確認してください。
- ・すべてのドアと窓を閉めてください。
- ・ドアを施錠（ロック）してください。
- ・フットを閉めてください。
- ・ワイパー、電動ミラーは、「OFF」にしてください。
- ・オートライトを「OFF」にしてください。



## 2. 法令上のご注意

### ⚠ 道路交通法に関するご注意

#### 公道でのエンジン始動禁止

公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反になりますので、私有地のみでご使用ください。

公道とは、不特定多数の車が出入りする場所を含みます。

例：公共施設・月極め・スーパーなどの駐車場、神社・寺などの境内、河川敷等。

---

## 電波法に関するご注意

---

### 分解、改造又は海外での使用禁止 (電波法違反)

ワイヤレスエンジンスターターの送信機は、電波法に基づく「特定小電力設備としての技術基準適合証明」を受けています。次の事柄を必ずお守りください。

送信機の裏面に貼られている技術基準適合ラベル (8ページ参照) は、はがさないでください。はがしますと、適合証明の効力が無くなり、送信機は使用できません。

送信機の分解・改造はしないでください。これらの行為は不正改造として、電波法に基づき罰せられることがあります。

この製品は国内専用です。海外では使用しないでください。(This product is for the use only in JAPAN.) お客様は電波法に係わる免許申請等の手続きは必要ありません。

---

### 運行前点検について

運行前点検は法令により、自動車を使う人が 1 回運転前に実施するよう義務付けられています。ワイヤレスエンジンスターターでエンジンを始動した場合でも、出発前に必ず運行前点検を実施してください。

## 3. 使用上のご注意

### 使用環境について

強力な電波が出ている近くや障害物がある場合は、電波が届かない場合があります。極寒の気象条件下ではエンジンがかかりにくいことがあります。

イグニッションキーでエンジンを始動したときに、車両の充電警告灯 (CHGランプ) が点灯する場合 (故障状態) には、ワイヤレスエンジンスターターを使用せずに、車両を点検してください。

エンジン始動・停止、車両状態チェック機能の操作を行った後で、送信機が車両からの応答を受信できない場合でも、実際にはエンジンの始動等の制御が行われていることがあります。

---

### この製品が正しく作動しない車両について

ターボタイマーとの同時使用はしないでください。(エンスト時の再始動ができなかったり、アイドリング時間が変わるなど性能保証ができません。)

---

### キーレスエントリー付車に関するご注意

キーレスエントリー等はワイヤレスエンジンスターターによるエンジン回転中、エンジンノイズ等の影響により、送信機の電波を受け付けられない事があります。エンジンを停止してから送信機の操作を行なってください。

---

---

## オートライト付車について

---

オートライト付車は、ライトスイッチが "AUTO" 位置にあると、夜間送信機によりエンジンを始動するとライトが点灯します。夜間での送信機によるエンジン始動は、ライト点灯による他人への迷惑を避けるためオートライトスイッチを "OFF" にして使用してください。

ライトスイッチが "AUTO" の位置であっても、ワイヤレスエンジンスターターでのエンジン始動時にはライトが点灯しない車種もあります。

---

## 迷惑なアイドリングはしないでください

---

環境保護、省エネ、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。

---

## 取り扱い上のご注意

---

### 送信機

送信機は携帯電話やラジオ等と同様な精密な電子部品です。破損・故障の原因となりますので送信機の取り扱いには、次のことをお守りください。

直射日光の当たる場所、湿気の多いところ、極端な高温（ダッシュボードの上など）極端な低温（スキー場などでの車内放置など）での保管または使用は避けてください。

直接水がかかるような場所での保管または使用をしないでください。

床に落としたり、固いものにぶついたり、強い衝撃を与えないでください。

送信機のアンテナに強い力がかかるような持ち方をしないでください。

汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を染み込ませた布を絞ってから拭いてください。

（ベンジン、シンナー、化学雑巾等は絶対に使用しないでください。）

送信機のキーリング部に多数のキーを取り付けたり、ポケットの中に入れてそのまま座ったりするとケースが変形したり破損することがあるのでお止めください。

送信機を持った状態で、キー等が車両に触れると静電気放電により、故障の原因となることがありますので、静電気の発生しやすい時期には、ご注意ください。

電池カバーのつめが確実にロックされていないと送信機内部に水が入り故障の原因となりますので、確実にロックしてください。

航空機内や病院など使用を禁止されている区域では、送信機の電池を抜いて本製品を使用しないでください。

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

医療機関内では、各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられる場合があります。

### アンテナ

アンテナで目や突くなどケガをするおそれがありますので、アンテナ先端を車両前方に向けてください。

## 4. システム構成と各部の名称

### ⚠ 注意

送信機は、お子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んで窒息したり、アンテナ等で目を突いてケガをするおそれがあります。  
送信機を落としたり、硬いものにぶつかけたりしないでください。故障の原因になります。  
送信機に水をかけたり、冠水・水没させると故障の原因になります。

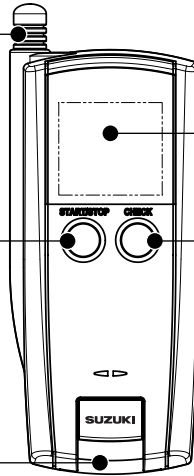
アンテナ

START/STOP (始動 停止) スイッチ

キーホルダー

液晶モニター

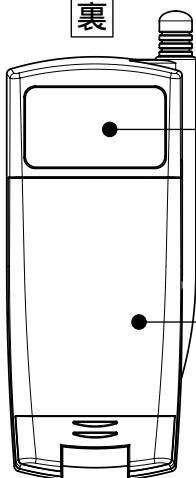
CHECKスイッチ



裏

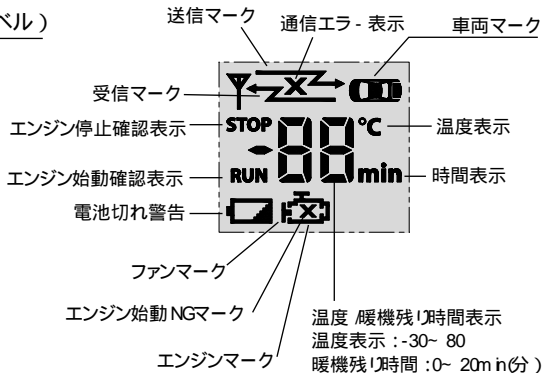
表

液晶表示部



シリアルNoラベル  
(技術基準適合ラベル)

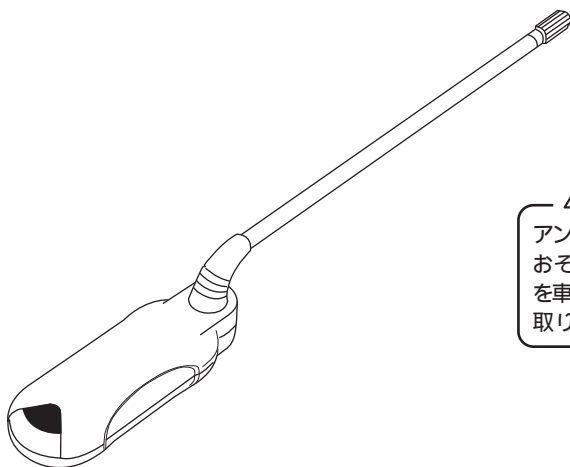
電池カバー





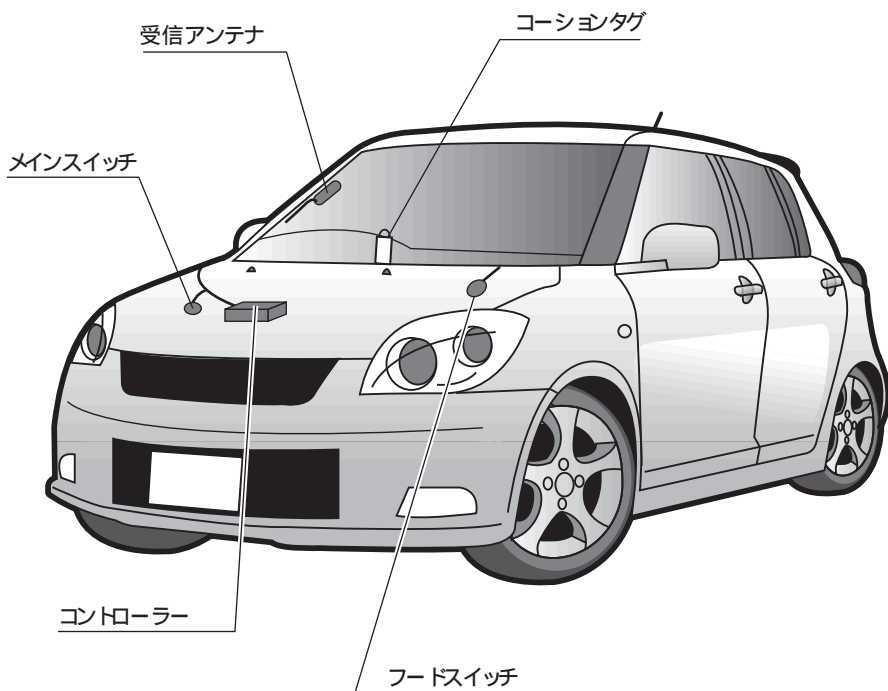
## 車両取付け部品

部品取付けの例 (車種によって取付け位置が異なります。)



### ⚠ 注意

アンテナで目を突くなど、ケガをするおそれがありますので、アンテナ先端を車両前方に取付説明書通りに取り付けてください。



## 5. ワイヤレスエンジンスターターの基本機能

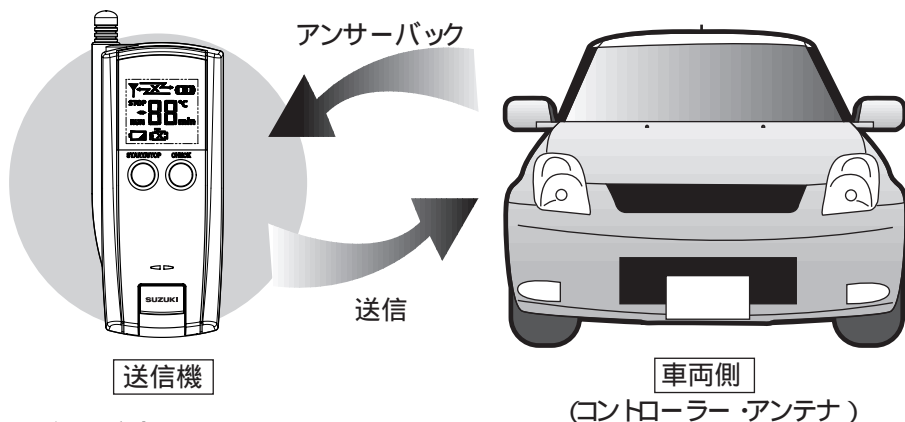
### エンジン始動 停止機能

送信機によるエンジン始動 停止、タイマーによる自動停止機能を備えています。  
また 13ページの条件が成立している時にエンジン始動が行なえます。



### アンサーバック機能

この製品は送信機と車載機 (コントローラー、アンテナ) で双方向の通信を行ないます。  
送信機の液晶モニターで、エンジン始動 停止 暖機残り時間 車内温度の確認ができます。



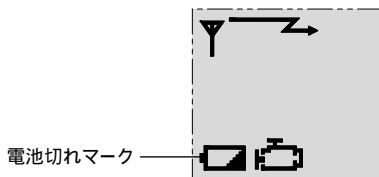
## 知識

### 電波法による規制

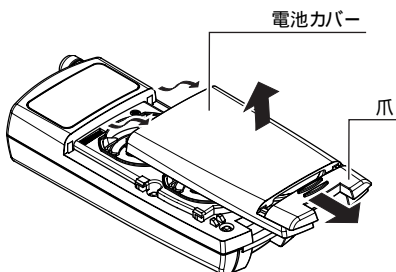
1. ご使用になる地域周辺で、本機で使用する電波周波数帯に近い電波が発信されている場合、電波法の規制により、送信機とコントローラー間の送受信が制限されます。その場合、送信機には送信エラーや受信エラーが表示されます。
2. 送信機の各スイッチの連続操作は、液晶モニターの「送信マーク」消灯後、『2秒以上』経過してから行なってください。電波法により2秒以内の連続送信は規制されております。
3. 受信エラーが表示された場合でも、エンジンが始動している場合があります。(コントローラー側で送信機からの電波を受信後、周囲の電波状況によりコントローラーから送信機へアンサーバックしない状態)

## 6.電池切れ警告と電池交換方法

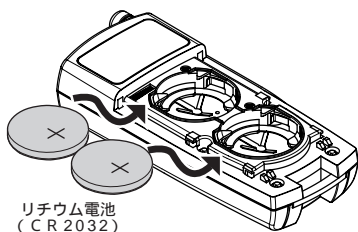
電池が消耗してくると、液晶モニター部の「電池切れ警告」が点灯します。  
この場合、そのまましばらくご使用になれますが、電波到達距離が短くなる等の現象が発生します。  
特に低温時には性能が低下してきますので、必ず2個同時に新しい電池に交換してください。



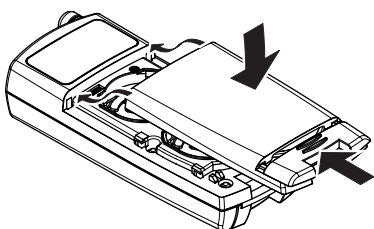
使用電池 : リチウム電池 CR2032 / 2個



電池カバーの爪の部分をスライドして  
カバーを取り外します。



新しい電池の+側が上になるように  
電池を交換します。



## 7. メインスイッチの使用方法

ワイレスエンジンスターターの全ての機能を停止するために、メインスイッチが装着されています。また、メインスイッチの近くにメインスイッチラベルを貼り付けすることにより、メインスイッチの装着位置を示します。

### メインスイッチ装着位置の例

#### 知識

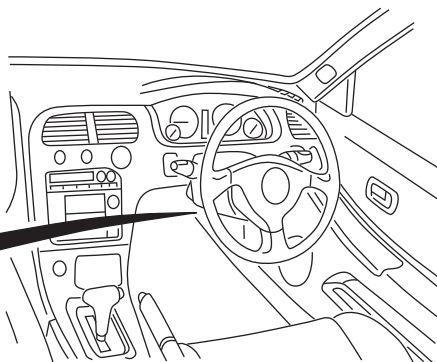
車種によりメインスイッチの装着位置が異なりますので、取付説明書もしくは、販売会社にメインスイッチの位置を確認してください。

ダッシュサイドロアフィニッシャー

メインスイッチ

メインスイッチラベル

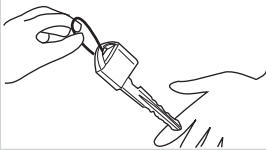
RS02-359



次の場合、メインスイッチを「OFF」にしてください。

1

他人に車を貸したり  
預けたりする場合



2

日常点検を行なう場合



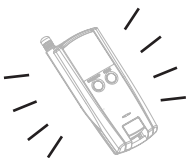
3

車を車検、修理に出す場合



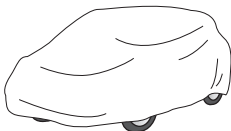
4

送信機を紛失した場合



5

車を長時間使用しない場合



メインスイッチを「OFF」にした場合は、20ページの「初期設定」を行なってください。

## 8. 基本操作

### ⚠ 注意

#### 車両駐車時の確認事項

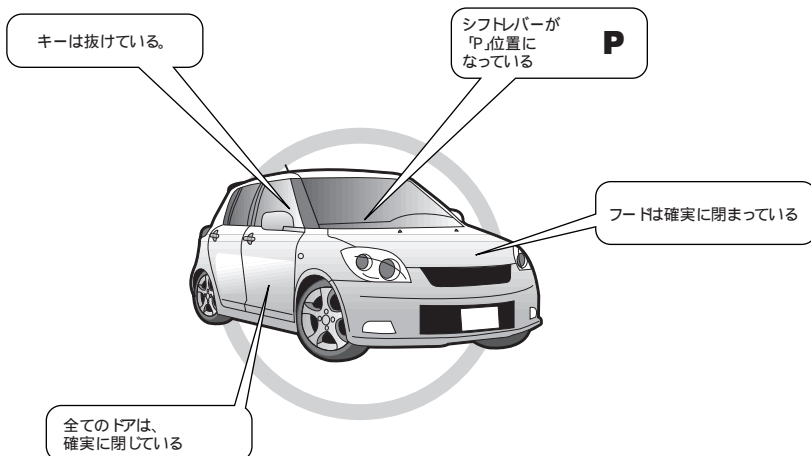
エンジン始動時の電装機器による事故や車両盗難を防止するため、駐車時には以下のことを守ってください。

- ・パーキングブレーキを確実にかけてください。
- ・シフトレバーをP位置にしてください
- ・キーを抜いてステアリングロックがかかったことを確認してください。
- ・すべてのドアと窓を閉めてください。
- ・ドアを施錠（ロック）してください。
- ・フードを閉めてください。
- ・ワイパー、電動ミラーは、「OFF」にしてください。
- ・オートライトを「OFF」にしてください。



#### エンジン始動の条件

ワイレスエンジンスターターをご使用になるときは、必ず事前に下記の始動条件を確認してください。1つでも条件が満たされていないと、危険と判断して作動しないようになっていますので、送信機を操作してもエンジンは始動しません。



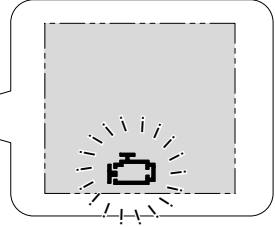
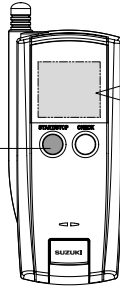
## 8.1 エンジンスタート操作

1 アンテナを十分に伸ばします。

2 「START/STOP」スイッチを 回短く押します。

液晶表示が右図のようになります。

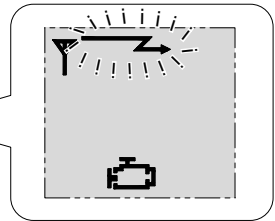
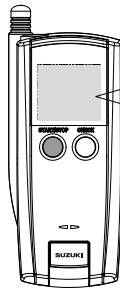
START/STOP  
スイッチ



3 上記液晶表示中に再度 「START/STOP」スイッチを音が鳴るまで押します。

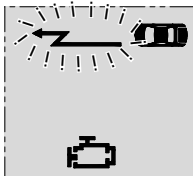
送信マークが点滅し 送信完了です。  
そのままの状態 (送信完了後)で、  
アンサーバックされますので、  
アンテナを伸ばした状態で待ちます。

液晶表示は約 7秒で消えます。  
スイッチを押す前に表示が消えた  
場合には、もう一度手順 2から  
やり直してください。

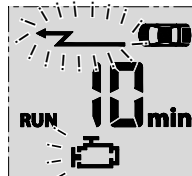


送信機が車両からの応答を受信し  
以下の表示とメロディ音でお知らせします。

エンジン始動  
準備中



約 7秒後



(エンジン始動時)

👉 アドバイス

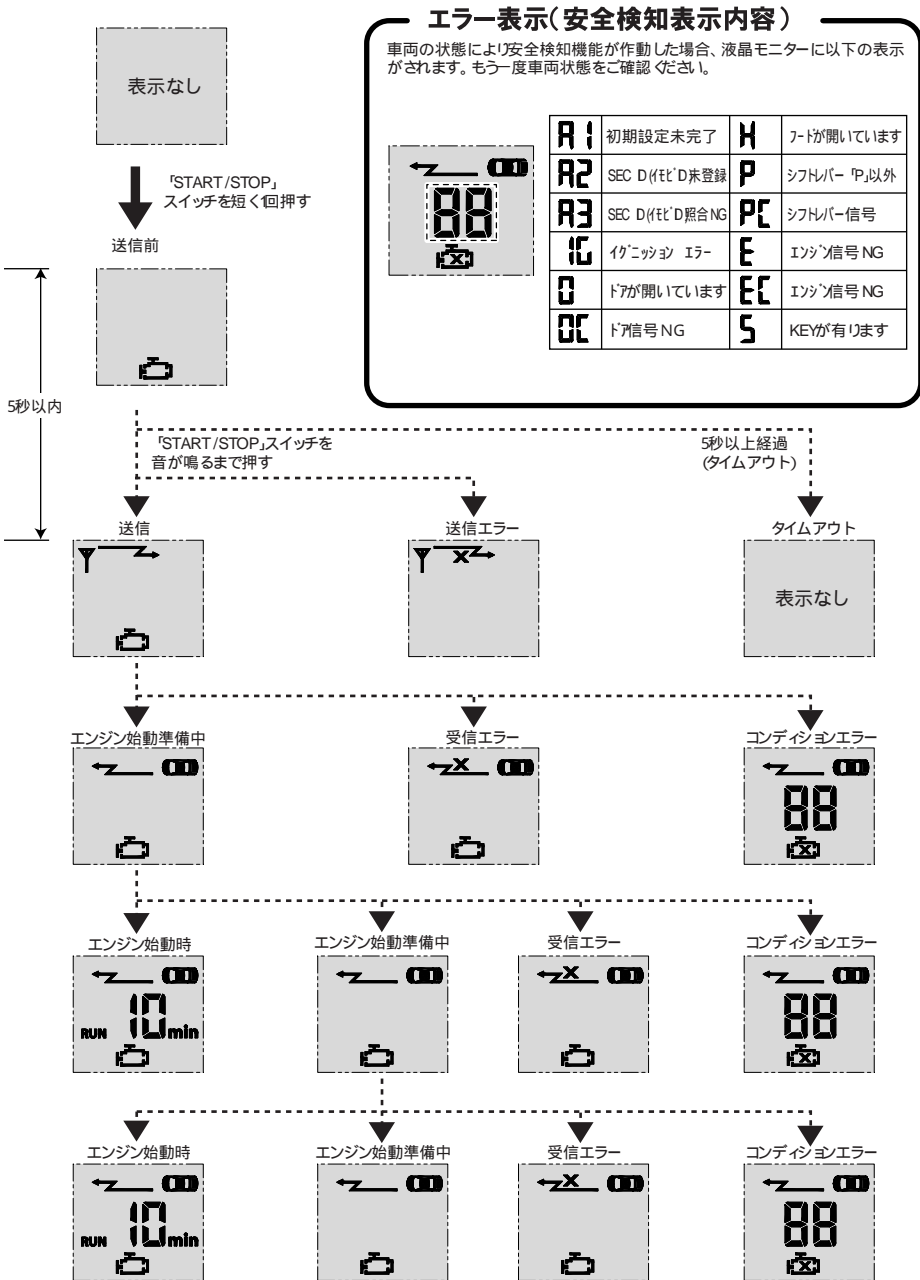
エンジン始動操作後、自動的に 2~3回アンサーバックされます。  
通信エラーの場合は、2回目以降のアンサーバックはされません。

知 識

1回目の操作でエンジンが始動しなかった場合は、自動的にコントローラー側でさらに 2回までセルモーターの再始動を行ないます。

# エンジン始動操作時の液晶表示

スイッチ操作、車両の状態、電波の状態によって、液晶表示が以下のように変わります。



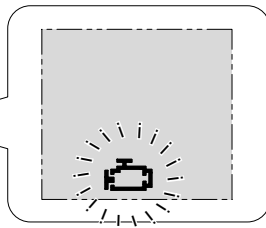
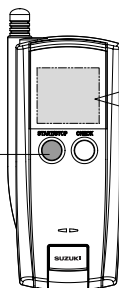
## 8 2 暖機残り時間チェック この操作は送信機でエンジンを始動した場合だけです。

1 アンテナを十分に伸ばします。

2 「START/STOP」スイッチを 回短く押します。

液晶表示が右図のようになります。

START/STOP  
スイッチ



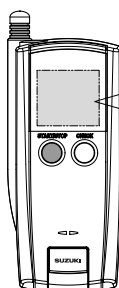
3 上記液晶表示中に再度 「START/STOP」スイッチを音が鳴るまで押します。

送信マークが点滅し、送信完了です。  
そのままの状態（送信完了後）で、  
アンサーバックされますので、  
アンテナを伸ばした状態で待ちます。

液晶表示は約 5秒で消えます。  
スイッチを押す前に表示が消えた  
場合には、もう一度手順 2から  
やり直してください。

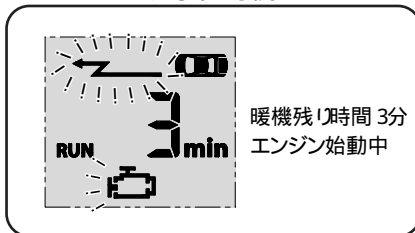
送信機が車両からの応答を受信し、  
以下の表示とメロディ音でお知らせします。  
確認できる項目は下記 2項目です。

暖機残り時間は？  
・エンジンが始動しているか？



ピロロロ

### 表示参考例



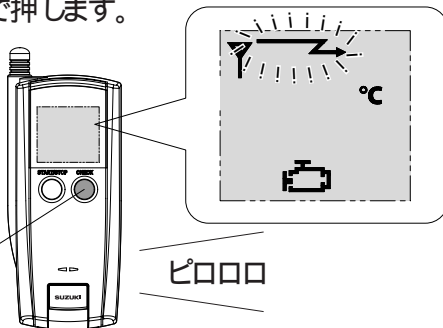


## 8.3 車両状態チェック この操作は始動前、始動後どちらでも行なえます。

1 アンテナを十分に伸ばします。

2 「CHECK」スイッチを音が鳴るまで押します。

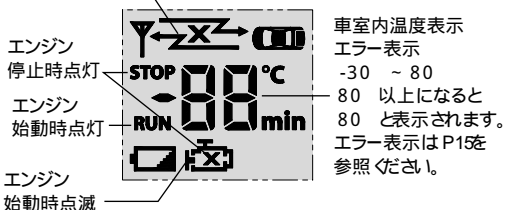
液晶表示が右図のようになります。  
送信マークが点滅し、送信完了です。  
そのままの状態(送信完了後)で、  
アンサーバックされますので、  
アンテナを伸ばした状態で待ちます。



送信機が車両からの応答を受信し、  
表示とメロディ音でお知らせします。  
確認できる項目は下記 3項目です。

- ・エンジンが始動しているか？
- ・車室内温度は何度か？
- ・安全検知表示

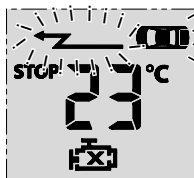
アンサーバック時点滅



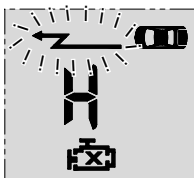
### 【表示参考例】



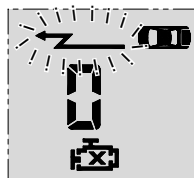
車室内温度 23  
エンジン始動中



車室内温度 23  
エンジン停止中



フット開いています



ドア開いています

## 知 識

エンジン始動条件を満たしていない場合は、エラー表示が優先的に表示されます。

## 8.4 エンジン停止操作 この操作は送信機でエンジンを始動した場合のみです。

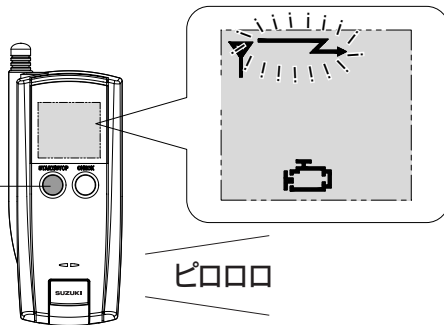
1 アンテナを十分に伸ばします。

2 「START/STOP」スイッチを音が鳴るまで押します。

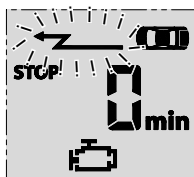
液晶表示が右図のようになります。  
送信マークが点滅し、送信完了です。  
そのままの状態(送信完了後)で、  
アンサーバックされますので、  
アンテナを伸ばした状態で待ちます。

START/STOPスイッチ

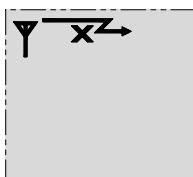
送信機が車両からの応答を受信し、  
表示とメロディ音でお知らせします。



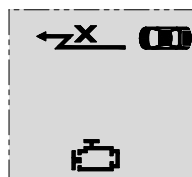
### 【表示参考例】



エンジン停止



送信エラー



受信エラー

### その他のエンジン停止条件

5つのうちいずれかでエンジンが停止します。

フットを開ける。

シフトレバーを「P」レンジ以外にする。

ドアを開ける。

キーを差し込む。(キーレススタートシステム付車は、プッシュスイッチを押す。)

設定した暖機時間が経過した。

### 車を動かすには・・・

ドアを開け車内に乗り込む。(ドアを開けると同時にエンジンは停止します。)

鍵でエンジンを再始動します。

## 知識

キーによりエンジン始動した場合、送信機でエンジン停止はできません。

## 8.5 暖機時間の設定 出荷時の設定は1分となっています。

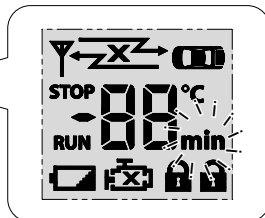
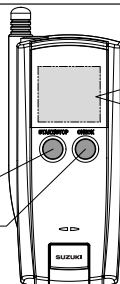
1 イグニッションスイッチを「ON」にします。

2 送信機のアンテナを十分に伸ばします。

3 「START/STOP」スイッチと  
「CHECK」スイッチを  
音が鳴るまで同時に押します。  
液晶表示が右図のようになります。

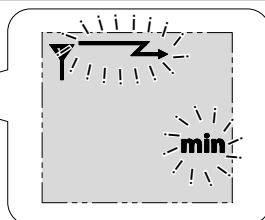
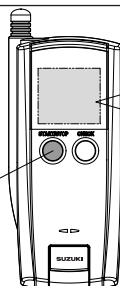
START/STOPスイッチ

CHECKスイッチ



4 「START/STOP」スイッチを  
音が鳴るまで押します。  
送信マークと「min」が点滅します。

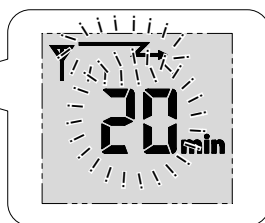
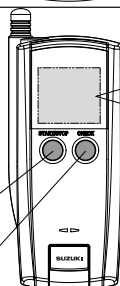
START/STOPスイッチ



5 10分に設定する場合は  
「CHECK」スイッチ、  
20分に設定する場合は  
「START/STOP」スイッチを  
音が鳴るまで押します。

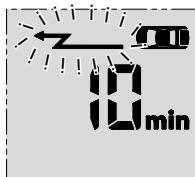
START/STOPスイッチ

又は CHECKスイッチ

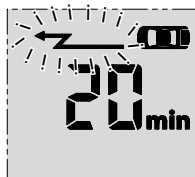


20分の場合

6 設定が完了すると以下のように車両側から送信機にアンサーバックが来ます。  
イグニッションスイッチを「OFF」にします。



10分に設定



20分に設定

### アドバイス

各スイッチ操作は、2秒以上間隔をあけてください。  
(電波法上規制によるものです)

### 注意

環境保護、省エネ、周りに迷惑をかけないためにも  
必要以上のアイドリングは行なわないでください。

## 9. 初期設定

初期設定が必要になる場合。


メインスイッチを「OFF」にしたとき。

バッテリーや車両ヒューズ等の電源系部品を外したとき。

新しくエンジンスターターを取り付けたとき。

車両バッテリーの状態が悪く、クランキング時の電圧低下が大きく初期設定が解除されたとき。

### 初期設定の方法

設定手順	車両側動作
1) メインスイッチを「OFF」にします。	
2) 約1秒後にメインスイッチを「ON」にします。	コントローラーのブザーが1回鳴ります。
3) シフトレバーを「P」位置にします。	
4) イグニッションスイッチを「ON」にします。	
5) シフトレバーを「P」から「R」位置に移動します。  <b>アドバイス</b> シフトレバーを動かす際は、必ずフットブレーキを踏んで車両が動かないようにしてください。	コントローラーのブザーが1回鳴ります。
6) シフトレバーを「R」から「P」位置に移動します。	コントローラーのブザーが2回鳴ります。
7) イグニッションスイッチを「OFF」にします。	

ブザーが鳴らなかった場合は、メインスイッチを一旦OFFにし

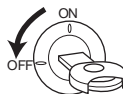
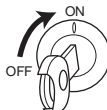
10秒後に再度メインスイッチをONにしてください。

## 10. リセット

リセットが必要になる場合

フットを開けたとき。

設定手順
1) フットを閉めます。
2) イグニッションスイッチを「ON」にします。(3秒以上)
3) イグニッションスイッチを「OFF」にします。



## 11. こんなときは

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。

異常が生じたときは、この取扱説明書をよくお読みいただき、下表の点検をしていただきそれでも不具合がある場合は、自分で修理なさらないで、お買い求めの販売会社へご相談ください。

症 状	確認内容	処置方法
送信機操作でエンジンがかからない場合	送信機の「START」操作が誤っていませんか？	基本操作」の項参照してください
	メインスイッチが「OFF」になっていませんか？	メインスイッチを「ON」にし、初期設定を行なってください。初期設定」の項参照。
	初期設定は行ないましたか？	初期設定を行なってください。初期設定の項参照。
	送信機のアンテナを完全に引き出していますか？ フードが開いていませんか？	送信機のアンテナを完全に引き出してください。 フードを開め、リセットを行なってください リセットの項参照。
	シフトレバーが「P」レンジ以外に入っていませんか？	「P」レンジ位置にしてください。
	ドアが開いていませんか？	ドアを開めてください。
	イグニッションスイッチが「ON」になっていませんか？	イグニッションスイッチを「OFF」にし、キーを抜いてください。
	電池は正しくセットされていますか？	11ページをお読みの上、正しくセットしてください。
	電池は消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
	車との距離が離れすぎていませんか？	作動可能距離内で操作してください。
他の操作で送信後、すぐに再操作していませんか？	液晶表示中は次の送信が出来ません。 表示が消えてから操作してください。	
送信機操作でエンジンが停止しない場合	送信機の「STOP」操作が誤っていませんか？	基本操作」の項参照してください。
	送信機のアンテナを完全に引き出していますか？	送信機のアンテナを完全に引き出してください。
	電池は正しくセットされていますか？	11ページをお読みの上、正しくセットしてください。
	電池は消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
	車との距離が離れすぎていませんか？	作動可能距離内で操作してください。
	他の操作で送信後、すぐに再操作していませんか？	液晶表示中は次の送信が出来ません。 表示が消えてから操作してください。 アンサーバック受信時は送信できません。
送信機の作動距離が短い	送信機のアンテナを完全に引き出していますか？	送信機のアンテナを完全に引き出してください。
	電池は消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
	車との距離が離れすぎていませんか？	作動可能距離内で操作してください。
	送信機と車両の間に建物等の障害物がありますか？	見通しの良い場所に移動するか、 車両に近づいて操作をしてください。

## 12. 仕様

仕様及び外観は、予告なく変更する場合がございます。

### 送信機

型式	NJ2000-CS
適合規格	AR B STD-T67
送信周波数	429.225MHz
送信出力	5mW
通信方式	双方向通信方式
送信時間	3秒以下
送信休止時間	2秒以上
動作温度範囲	-20~ +60
保存温度範囲	-30~ +80
アンテナ	2段ロッド&ベースローディング併用タイプ
使用電池	コイン型リチウム電池 CR2032× 2個
電池寿命	新品電池で、2000回以上送受信可能 (ただし1年以内)
寸法	35 × 78 × 18 (mm) (アンテナ突部含まず)
重量	46g (電池含む)

### アンテナユニット/ コントロールユニット

型式	NJ2000-B
適合規格	AR B STD-T67
送信周波数	429.225MHz
定格電圧	DC 12V
消費電流	3mA以下 (待機時)
動作温度範囲	-40~ +85
保存温度範囲	-40~ +90
寸法	アンテナユニット 30 × 86 × 187 (mm)
	コントロールユニット 84 × 129 × 25 (mm) (温度センサー部含まず)

